

競技注意事項(女子駅伝)

1. 競技全般について

- ・本大会は2021年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則及び日本陸上競技連盟駅伝競走規準によって実施する。
- ・伴走は一切認めない。
- ・競技者は、警察官及び交通指導員の指示が無い限り、如何なる場合でも走路の中央線より左側を走らなければならない。
- ・たすきは、参加校が正たすき、副たすきを1本ずつ用意し、区間エントリー受付時に受付本部に提出すること。なお、正たすきは第1走者の第2次コール時に手渡す。また、副たすきは必要に応じ、第4中継所の最終走者に手渡す。
- ・競技中、本大会競技注意事項に違反したために生じた事故については、主催者は一切責任を負わない。ただし、上記以外の不慮の事故については応急手当のみ行う。
- ・オープンチームの総合記録及び区間記録については参考記録にとどめる。
- ・たすきを身に着けずにゴールした場合は失格とする。
- ・使用しなかった副たすきについては、最終中継所の第4中継所にて返却するので各大学取りに来ること。

2. エントリー、選手変更について

- ・区間エントリー受付時に、ナンバーカードを1人2枚ずつ配布する。ナンバーカードは、ユニフォームの胸と背に糸または安全ピンによって確実につけること。
- ・区間エントリー受付後の変更は一切認めない。
- ・正規チームで補欠に回った選手については、オープンチームにおける区間エントリー選手として参加を認める。なお、オープンチームエントリー選手は、正規チームにはなりえない。また、オープンチーム間の選手の移動は禁止する。(正規チームからオープンチームに移動した場合は、正規チームに、戻れないものとする。各チーム気をつけること。)
- ・オーダー用紙提出後の選手変更は、やむを得ない場合のみ認めるが、原則認めないものとする。選手変更については、大会当日の午前7時30分から午前8時30分の間にメンバー変更届け及び医師の診断書を添えて、大会本部まで申し出ること。

3. 走行不可能・途中棄権について

- ・競技者が途中で総務、審判長あるいは大会本部に競技中止を命じられた場合は、直ちに競技を中止しなければならない。
- ・競技者が競技を続行することが出来ない状態になった場合は、当該チームのその区間の競技を無効とする。ただし、当該チームの申し出により審判長の判断で次区間から再び競技を続行することが出来る。その場合、そのチームの全体の記録は認められないが完走した各区間の記録は認められる。

4. 繰り上げ出発について

- ・中継所における繰り上げ出発は、第1中継所から第3中継所までは先頭走者から10分の遅れ、第4中継所では先頭走者から15分の遅れがそれぞれ見られた場合、各中継所審判主任の裁定で前走者が到着していなくても次の走者を出発させる。
- ・繰り上げ時に用いるたすきは、大会本部が用意した白タスキを使用し、第5区間については、区間エントリー時に受け付けた副たすきを使用する。

5. 中継所について

- ・中継所におけるたすきの受け渡しは、車道以外の区域または車道左端で行うこと。
- ・たすきは、中継線から進行方向20m以内で、手渡ししなければならない
- ・たすき渡しに際して、前走者がたすきを外すのは中継線手前400mから、次走者がたすきをかけるのは中継後200mまでをおおよその目安とする。
- ・たすきを渡し終えた走者は、速やかに他の走者の障害にならないように、左側歩道あるいは、選手退避場所に移動すること。付添者については、競技役員の指示が無い限り走者が走り終えても走路内に入ってはならない。
- ・たすきは布製で長さ1m60cm～1m80cm、幅6cmを標準とし、必ず肩から斜めに脇の下に掛けなければならない。

6. 招集について

- ・1次コールは中継配車バスの乗車時に行う。2次コールは先頭走者通過予定時刻の20分前とし、以下の時刻に中継所選手待機場所においてそれぞれ行う。ただし、第1区走者はスタート地点待機場所にて行う。
- ・招集時間は以下の通りとし、遅れた者は失格とする。

	スタート地点	第1中継所	第2中継所	第3中継所	第4中継所
配置走者	1区	2区	3区	4区	5区
1次コール	乗車時	乗車時	乗車時	乗車時	乗車時
2次コール	9:30	9:40	9:55	10:05	10:30
先頭通過予想	9:50	10:04	10:16	10:28	10:54

7. 選手・付添者及び監督の輸送について

- ・選手、付添者の各中継所へのバスによる輸送については、別紙の輸送バス時刻表の時刻に基づき配宿先玄関前にバス出発5分前までに集合し、点呼(一次コール)の後、各中継所配車バスに必ず乗車すること。バスの時刻表は、各宿舍にて掲示するので必ず確認すること。
- ・女子駅伝では、監督車両を設けないので注意すること。
- ・荷物は付添者あるいは前走者に引き継ぐようにするなどして、各大学で責任を持って管理すること。荷物の紛失等について主催者側は一切責任を負わない。

- ・選手・付添者は必ず輸送バスで島原文化会館に戻ることに。

8. 応援について

- ・本大会は、感染症感染予防の観点から無観客で開催として、応援は禁止とする。
 - ・各大学ののぼり・横断幕の公道での掲揚は出来ない。また、公道へのマーキングも厳禁とする。
 - ・中継所付近での大声、鳴り物を用いた応援は選手の呼び出しに支障をきたすため禁止する。
 - ・沿道にて応援の自粛の協力が得られない大学が見受けられた場合は、当該大学は失格とする場合がある。
- なお、参加するチームは、(別紙)応援自粛協力の同意書を、大会前日(12/3)にインフォメーションセンターに提出すること。

9. 処罰について

- ・駅伝競走規準、競技注意事項並びに申し合わせ事項に違反した走者は、審判長並びに大会本部によって直ちにその場で競技中止を命じ、チームは失格となる。
- ・大会要項、駅伝競走規準、競技注意事項並びに申し合わせ事項に違反した大学は、大会終了後直ちに、大会総務、総務員並びに審判長等と協議・審査の上厳重に処罰する。

10. 抗議について

- ・抗議は日本陸上競技連盟競技規則 TR146 条に基づき、正式結果が発表されてから 30 分以内に競技者自身、または代理人が口頭で審判長に申し出なければならない。
- ・審判長の裁定不服の場合には、その競技者に代わる責任者より上訴申立書と預託金(¥10000)を添えて、上訴する。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合、没収される。

・

11. その他

- ・監督会議は12月3日(金)午後1時より行なう。監督会議の席上、交通機関並びに競技上重要な注意をするので、各大学の監督もしくは代表者は必ず出席すること。また、やむを得ず欠席する場合は事前に本連盟にその旨を伝えること。
- ・参加校は、主催者より依頼された補助員を責任を持って派遣すること。
- ・健康保険証のコピーを持参すること。

(別記 1)

新型コロナウイルス感染症対策

◆会場における感染予防策

式典における感染予防対策

1. マスクの着用の徹底

- ①大会役員、関係者(選手・陸協審判・学生審判補助員・来賓等)すべての来場者は常時マスクの着用を義務とする。

2. ソーシャルディスタンスの確保

- ①会場では、あらかじめ※指定された座席に着席し、会話は控えること。

3. 検温・手指消毒の実施

- ①文化会館入り口にて、検温を実施。手指の消毒を行うこと。
37.5℃を超える場合及び体調不良は、入場を認めない。

4. 規模を縮小しての実施

- ①開会式において、事前に申請する来場者名簿に名前のあった各参加校男女、正選手を含む10名までの出席を可能とする。
(※来賓関係においては、各団体10名以内の来賓を推奨する。)
- ②閉会式において、区間賞(1名)及び優勝校(2名)・入賞校(1名)該当選手と希望に応じて該当選手の大学の関係者(2名)までの入場を可能とする。

競技中における感染予防対策

1. マスクの着用の徹底

- ①大会役員、補助員、警備員、大会ボランティアなどすべてのスタッフは常時マスク着用を義務とする。
- ②選手は、競技中(ウォーミングアップ、クールダウンを含む)以外のマスク着用を義務とする。

2. ソーシャルディスタンスの確保

- ①会場では可能な限り他人との距離を確保し、必要以上の会話を避ける。

3. 検温の実施について

- ①選手には、輸送バス乗車時に検温を実施する。大会役員、補助員、警備員、大会ボランティアなどに関しては、場に応じた検温を実施する。

4. ごみの処理

- ①飲み残し飲料や鼻水、唾液などが付着したごみは自己責任で処理を行うこと。原則として持ち帰ること。

◆選手およびチーム関係者について

1. 選手は大会の2週間前からの体調管理および検温を実施し、九州学生陸上競技連盟ホームページ掲載の体調管理チェックシートに記入して各大学の代表者が管理すること。
2. 選手及びチーム関係者は、必ず11月30日(火)から12月2日(木)までに「PCR検査」または「抗原検査」を実施し、陰性であることを確認することを義務づける。
3. 各大学の代表者は所属大学の選手 および関係者の健康状態を確認し、提出用の体調管理チェックシート及び提出用の新型コロナウイルス検査報告書を主催者に提出すること。
4. 体調管理チェックシート及び新型コロナウイルス検査報告書を提出しない出場内定校は出場を認めない。
5. 大会前日(12/3)の13:00～15:00にて、エントリー選手を対象とした検温を実施する。検温結果に応じて、メンバー変更の有無を決定すること。
6. 選手、チーム関係者へ場に応じた検温を実施する。異常があった場合には医師の指示に従うこと。
7. 同居家族や身近な知人に感染が疑われる場合や過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該該当者との濃厚接触がある場合には自主的に参加を見合わせることを。
8. 競技会場内に感染をしているかどうか不確かな選手、チーム関係者がいた場合は、その場で検温を実施し、状況により参加を許可しない。(不確かな選手の事例:一見して体調が悪そうに見える、咳、鼻水の症状(風邪の症状)が見られるなど。)
9. 大会終了後2週間の体調管理・検温を実施すること。

◆その他注意事項

1. 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策には万全を期すが、万が一感染してしまったとしても、主催者は責任を負うことはできない。
2. 状況により競技会を中止にする場合がある。その場合は本連盟ホームページに記載するので必ず確認の上、競技会に参加すること。
3. 新型コロナウイルス感染症の影響による中止に伴い、発生した旅費等のキャンセル料等の支払いは行わない。

(別記2)

大会期間中における検

温方法について

(選手・チームスタッフ)

大会期間中は、下記表に記載の箇所にて検温や検温済みシールを貼ったネームプレートの確認を行う。

各日ごとの詳細については次ページ記載事項を熟読すること。

12月3日(金)

会場	場所	係員対応時間	検温及び検温済みシールの配布	検温済みシールを貼ったネームプレートの確認
島原文化会館	展示ホールロビー入口	10:00～16:30	○	○
	大ホール入口	15:15～16:30	×	○

12月4日(土)

会場	場所	係員対応時間	検温及び検温済みシールの配布	検温済みシールを貼ったネームプレートの確認
島原文化会館	展示ホールロビー入口	7:30～15:00	○	○
	大ホール入口	13:15～15:00	×	○
島原市営陸上競技場	第4コーナー外側	7:30～15:00	○	○
選手輸送バス	バス入口	バス乗車時	○	○

12/3(金) 島原文化会館

1. 開会式・会議関係

- ① 島原文化会館入り口にて検温を実施し、検温済みシールを受け取る。
- ② 島原文化会館入口付近に受付を設置する。受付では、事前に申請してもらった来場者名簿をもとに、ネームプレート配布する。会議や開会式のために島原文化会館に繰り返し立ち入る人は、①でもらった検温シールをネームプレートは必ず貼ってもらうこと。
- ③ 入館の際は、手指のアルコール消毒を必ず行う。
- ④ 開会式会場の入り口に係を立たせ、検温シールが貼られていない人を入館することが出来ない。

12/4(土) 島原文化会館・島原市営陸上競技場・バス乗車時

1. 島原文化会館

- ① 事前に申請してもらった来場者名簿をもとに、ネームプレート配布するので受け取ること。
- ② 島原文化会館入り口にて検温を実施し、検温済みシールを受け取り、ネームプレートに貼ること。
- ③ ネームプレートがない場合には、受付をおこなうこと。
- ④ 入館前には、手指のアルコール消毒を必ず行うこと。

2. 島原市営陸上競技場(監督車及び大会関係者)

- ① 競技場入り口にて、ネームプレートの有無を確認し、検温を実施する。
- ② 問題がなければ、検温済みシールを受け取り、ネームプレートに貼ること。
- ③ 競技場の出入りの際は、必ずネームプレートをかけるようにすること。

3. バス乗車時(第 1～5 走者)

- ① バス乗車時、ネームプレートの有無を確認し、検温を実施する。
- ② 問題がなければ、検温済みシールを受け取り、ネームプレートに貼ること。

なお、選手のネームプレートは 2 次コール時に本連盟役員が回収し、走り終えた自チームの前走者に渡すものとする。第 1 走者の着用していたネームプレートは第 5 走者ゴール時に第 5 走者に渡すものとする。

- ③ バスの乗り降りの際、必ずネームプレートを着用すること。